



Since 1972.2.24

帯広西ロータリークラブ

11 2008, NOVEMBER
第1787回例会

平成20年11月13日



会報

THE ROTARY CLUB OF OBIHIRO WEST
Weekly Report

<http://www.tokachi.co.jp/wrotary/>



2008年11月

ロータリー財団月間

会 長	越智 孝佳	広報委員長	久保 且佳
副 会 長	太田 万也	広報副委員長	堂山 啓太
副 会 長	神田 龍一	委 員	杉田 吉弘
幹 事	石原 英樹	委 員	安原 明彦
会 計	高田 晃一	委 員	飯田 正行
S A A	佐々木和彦	委 員	横田 幸宏
		委 員	上垣香世子



**世界の子どもたちに
ワクチンを届けよう!**
(エコキャップの回収に協力して下さい)

会長報告

会長 越智 孝佳



皆さん、こんにちは。会長報告を申し上げます。
めっきり寒くなって参りました。気がつくど、大雪、日高の山並みの稜線は真っ白く雪化粧をしております。いよいよ冬が近づいたと実感いたします。マスクをつけた人も、あちらこちらで見かけるようになっております。十分に、健康には注意頂きたいと思えます。

さて本日は、先週の理事会の中で執り行いが決定いたしました事業について、ご報告とご協力をお願いを致します。後ほど、社会奉仕委員会の斉藤委員長の方からも説明がありますが、ペットボトルのキャップを回収することによって、ポリオワクチンと交換できるというものです。ポリオプラスのロータリー財団への寄付だけでなく、RIと共に私達が直接的にポリオ撲滅運動に着手するという趣旨のものです。実は1ヶ月程前に神田副会長より提案があり、斉藤委員長も含め打ち合わせを進めて参りました。実感できる奉仕であると共に、我々会員の特色を活かした運動になるかと思っております。各職場を通し、広く啓蒙活動のできる事業として、また今後に広がりを持つ事業として捉える事ができると考えられます。地域に見えるロータリー活動という点からも、意義のあるものではないでしょうか。まずは西クラブ内から、そして職場、広く地域へと膨らみを持たせる事ができるのではないかと思います。また、これに伴う事業費については大きなものではないと思っておりますが、一昨年よりニコニコ献金の使用用途を奉仕への転換という事になっております。これに充当する事も考えられるかとも思っております。今後の取り組みについては、更に検討を重ねて参りますが、会員皆様のご意見、お知恵を頂きながらより良い方向へ進めて参りたいと思えます。

ちなみに今回のポリオプラスの寄付につきましては、今年度より3年間という事になっております。丁度柴田ガバナーの年度が終了の年となります。地区としての目標額も設定されております。併せて、今後ともご協力をお願い致します。

以上で会長報告とさせていただきます。ありがとうございます。

たいまつ宣言

この「たいまつ宣言」は創立30周年にあたり、西ロータリークラブの創立の心を知るところから発し、我々が未来へ向けての道標とするものである。たいまつのように我々の行く道を照らし、明るい未来へと導くものである。

- 1.我々は 根根のない交流を目指し 友情の輪を拡げる
- 1.我々は 他に依存することなく 自らを発する
- 1.我々は 常に変革をもって 行動する
- 1.我々は 自己の研鑽の為に 真の奉仕を実践する
- 1.我々は 生涯現役であり 活動に引退はない

出席状況報告

月/日	10/2	10/9	10/16	10/23	10/30
例 会	1781回	1782回	1783回	1784回	1785回
総会員数	73名	73名	73名	73名	73名
計算に用いる 出席数	66名	66名	66名	66名	66名
ホームクラブ出席	39名	45名	44名	47名	48名
メイクアップ参加	22名	19名	17名	13名	11名
欠 席 者	5名	2名	5名	6名	7名
出 席 率	92.4%	97.0%	92.4%	90.9%	89.4%

ニコニコ献金

11月13日 2,000円 累計 177,000円

今月の主な行事

- 11月 6日 誕生・結婚祝
- 13日
- 20日
- 27日 夜間例会



点鐘
開会宣言
ロータリーソング (奉仕の理想)
(会食)
会長報告
会務報告

越智孝佳会長
田中利昭副SAA

- ①帯広南RC、11月24日(月)は振替休日のため休会と致します。
②帯広西RC、夜間例会開催のご案内
日時 平成20年11月27日(木) 午後6時30分
場所 北海道ホテル
③帯広西RC、年次総会開催のご案内
日時 平成20年12月4日(木) 午後0時30分
場所 北海道ホテル

委員会報告 社会奉仕委員会 齊藤憲生委員長
「ペットボトルのキャップを集めて子供たちにワクチンを！」という、エコキャップ推進を行いたいと神田副会長に相談したところ、それは良い事だということで、会長、幹事にも承認を頂き始めることとなりました。ポリオワクチンは1人分20円、キャップ800個で1人の子供の命が救えます。ぜひ会員の皆様、家庭また職場でのご協力お願いいたします。

ニコニコ献金 親睦活動委員会 土肥孝紀委員長
越智孝佳会員 本日セブンイレブンでくじ運の悪い私が野菜ジュース1本当たりました。年末ジャンボ宝くじでも買おうかなと思います。

出席報告 出席委員会 内海仁司委員長
10月末会員数 73名 入会会員数 0名 退会会員数 0名
女性会員数 2名 10月平均出席率 92.4%



プログラム プログラム委員会 金尾 剛委員長
「新会員卓話」

本日の新会員卓話は、八代信弘会員と小島清司会員のお二人をお願いしております。



八代信弘会員

ご紹介頂きました八代です。私にとっての青春とは、ずばり「山」です。中学2年生でサホロ岳、3年生で剣山を登り、高校に入って夏休みや連休には、芦別、ニベソツ等登り、大学に入学して山岳部に入り1年間で約120日の休みは、ほとんど山にあてた日々でした。



大学2年の時、初めて海外遠征がありパプアニューギニアの4800mの山に登り、その頃よりヒマラヤへ行きたいという夢が芽生えて、その夢にむかって訓練を始めました。夏は岩登り、冬は雪山というのが通例でヒマラヤにはクレパスがあって20m、30mの氷壁を克服しなければなりません、そのための訓練として剣山の北壁へ行ってアイスパーケンやワイヤーラウダーの使い方など氷壁の訓練をしたり、特に11月下旬の富士山の訓練は厳しく、30m級の突風の中にかに自分の体を支えるかとか、頂上まで行って一晩雪に穴を掘ってその中でビバークをするという訓練をしました、また地上での訓練はほぼ毎日4.5キロ走ったり、30kg、40kgのザックを背負い4階位の階段を10往復したりして足腰を鍛えたり、また11月12月には毛布一枚で寝るといった耐寒訓練などをしていました、それらの訓練が私の体の基礎となっていきました。

大学を卒業して、2年後にヒマラヤ遠征へ行く計画をたて、1971年に行きました。その頃、私は大学の卒業はしていましたが、研究生という学生みたいな身分で自由がききましたので、一ヶ月前に先発隊としてネパールに入り準備を進めてきました。当時持って行けるお金は、一人3000ドル約100万円位

まででそのお金を有効に使うためブラックマーケットという相場を探したり、外務省へ許可を取るために毎日通ったり、また必需品を現地で調達したりなどしていました。そしてシェルパー10名、ポーター120名を雇って10日間位で、キャラバンをして4000mのところまでベースキャンプを作りました。日本人が初めてベースキャンプへ行くと殆どの人が高山病にかかります。また、これはおもしろい話ですが、日本酒一合が3升から4升飲んだくらい酔うという経験をしました。そして、ベースキャンプ1、2、3と張り6000mまで行き、最終のアタックキャンプを作る前日に雪崩が起きて食料や器材等が流されこれ以上は無理という事で涙をのんで断念しました。以上、これが私の青春です。

小島清司会員

私は、昭和26年11月15日上士幌町で生まれ、昭和28年に帯広の大通り南9丁目東仲通りに引越し、双葉幼稚園、柏小、六中、柏葉高校と通学しました。



中学、高校と美術部に入っていました、芸術の才能がないと判り、今はもっぱら鑑賞主体です。高校卒業の時、殆どの同級生が大学進学するというなか、私は経済上の理由で親から無理だと言われました。先生に相談すると公務員試験を受け、夜間大学に通う手があるというアドバイスを受け、税務大学校、法政大学の夜間を卒業しました。

大学よりも、税務署での仕事の思い出が多くありました。山梨県甲府と神奈川県川崎市の間税課にいました。その頃の間接税の調査官は現行犯逮捕権を持っておりました。一番楽しかったといいますが、恥ずかしかったのは入場税の調査で、いわゆるストリップ劇場が入場税の脱税が多いということで朝から晩まで入場者を数えていました。朝から晩までいるのですから、そのうち踊り子さんが「あんたもすきねえ」という表情で見られて、恥ずかしい思いと共に、半分は楽しかったと言いましょか、良い思い出でした。

税務署は、5年で退官しまして、その退職金で三ヶ月ほどヨーロッパをうろろろとしていました。最初の入国と最後の出国はロンドンだったのですが、ロンドンでは今でいう「ウィークリーマンション」を借りて、美術館や博物館に毎日のように回っていました。お金もなくなってきて、日本に帰る時、イギリスの若い独身の紳士と知り合いになり、出国するまでの数日彼のアパートにお世話になり、最初に泊まった夜に、二人でテレビを見てみると、彼が私の手に彼の手を重ねて耳元で「アイ、ラブ、オリエンタルボーイ」と言いました。私は英語が苦手な「好ましい」という程度の意味で捉えていたので何のこともなく「そうですかあ」という程度の反応をしていました。その後シャワーを浴びて出てきたら、彼がバスタオルで私の体を拭いてくれました。本当に親切なイギリス人だと思いました。ベットに入ってから「彼の行動は何か変だ」と気づいて、もしかしたら「ホモ？」とやっと気づいたのです。私はその時初めて、処女の気持ちがわかりました。「不安で怖い、でも経験してみたい！」と。

私の趣味の一つ「旅行」ですが仕事も忙しく中々行けないのが残念です。また、「絵画鑑賞」は旅行したときには必ず美術館に寄るようにしています。印象派が好きで、特にセザンヌの構図、モネの色使い、ルノアールの筆使いには心が惹かれます。

他に「マラソン」があります、最初の頃は大会にも出てフルマラソンにも出ていましたが、ここ数年はハーフマラソンが主体で特に最近は健康のためにと思っています。

最後に性格は「温厚、実直」とロータリーの推薦書でなっております。多分そうなのでしょう。以上、ご静聴ありがとうございました。

開会宣言
点鐘

田中利昭副SAA
越智孝佳会長